平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市税の徴収等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	2	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	収税課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	石井　邦男			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	研修参加や実績を重ね動産等を対象とした滞納処分の手続きにかかわる習熟度を高める。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	滞納処分の手続きにかかる習熟度を高め、効率的な運用を図るために差押えるべき財産を選定する。
②①に基づく取組み結果	動産5件公売実施した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市税	意図（対象をどうするのか）	市税の確保と徴収率の向上
②事務事業の概要	市税の徴収に必要な滞納整理（督促、催告、納付相談及び滞納処分）を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	納税者のライフスタイルの多様化に伴い、納税環境の整備・充実を図ることは必要不可欠となってきている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	動産5件公売を実施した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	収納額	13,263	13,376	13,611	百万円	決算
ii	徴収率	93.4	94.1	95.0	%	決算
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	7,915	6,915	金額（千円）	内容	16,258
国支出金（千円）			5,538	非常勤職員賃金	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	7,915	6,915			16,258

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	動産等の捜索・差押・公売の円滑な実施					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	さらに効果的な運用を図るために差押えるべき財産を選定する力をつける必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H28からの繰越
③達成状況				H28⇒29繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					